

JALOS ニュース

Japan Lubricating Oil Society

2006 10月号

「平成18年度潤滑油管理者研究会（東京）」開催

9月22日（金）虎ノ門パストラルにおいて、基金対象事業における調査情報収集・研究会等事業の一環として「平成18年度潤滑油管理者研究会（東京）」を開催しました。当日は会員を中心に90余名の参加を得て盛況に行われました。

今回の東京における研究会では、財団法人日本エネルギー経済研究所の小林良和氏、財団法人安全保障貿易情報センターの鈴木義光氏及び社団法人自動車技術会二輪部会二輪車用4サイクルエンジン油分科会長の赤木正俊氏（株式会社本田技術研究所）を講師に招き、それぞれご専門の立場から下記テーマでご講演いただきました。

講演1 「原油価格の動向と国際石油情勢」

財団法人日本エネルギー経済研究所
戦略・産業ユニット
研究員 小林 良和 氏

「原油価格の動向と国際石油情勢」と題し、国際石油市場の現状、需要サイドの原油価格上昇の諸要因、供給サイドの原油価格上昇の諸要因、今後の原油市場を見る上でのポイントなどについて講演。



目次

- | | |
|------------------------------------|--------------------|
| 1. 「平成18年度潤滑油管理者研究会（東京）」開催 | 6. 協会の動き |
| 2. 「平成18年度潤滑油管理者研究会（大阪）」開催 | 7. 平成18年工業統計調査について |
| 3. JALOS 研修会「初級コース・車両用潤滑油」開催 | 8. 潤滑油需給統計 |
| 4. 「06 JALOS 環境フォーラム」開催のご案内 | 9. お知らせ |
| 5. 「第31回潤滑油製造業・全国環境保安担当者講習会」開催のご案内 | 10. 今後の予定 |

社団法人 潤滑油協会

URL <http://www.jalos.or.jp/>

具体的には、国際石油市場の現状として原油相場の推移、石油市場間の相関性、原油の先物市場取引の事業者などについて解説。また、需要サイドの原油価格上昇の諸要因として世界的な好景気継続、石油製品供給余力の縮小、米国における燃料品質規格問題、コモディティ市場への投資資金の流入、ピークオイル論の流行などについて解説。さらに、供給サイドの原油価格上昇の諸要因として余剰生産能力の縮小、産油国・地域における政情不安、米国のハリケーンによる生産量減少などについて解説。最後に今後の原油市場を見る上でのポイントとして、短期的にはイラン・ナイジェリアからの石油輸出の動向、中期的にはイラクからの生産量の動向、生産能力増強に対する適切なタイミングでの投資などについて解説。

講演 2 「安全保障輸出管理について」

財団法人安全保障貿易情報センター
輸出管理アドバイザー 鈴木 義光 氏

「安全保障輸出管理について」と題し、安全保障輸出管理の国際的な枠組み、我が国の安全保障貿易管理制度の概要、違反事例、輸出管理の最近の動向などについて講演。

具体的には、安全保障輸出管理の国際的な枠組みとしてホワイト国の国名、レジーム参加国、ココム（COCOM）とワッセナー・アレンジメント（WA）などについて解説。また、我が国の安全保障貿易管理制度の概要として我が国の貿易管理の仕組み、潤滑油剤の規制物質、輸出許可の種類、輸出許可の基準、キャッチオール規制の基本などについて解説。さらに、違反事例として違反に対する罰則、初歩的な誤りによる違反事例、最近の違反事例、違反事例のケーススタディなどについて解説。最後に、輸出管理の最近の動向として経済産業省の取組み、輸出許可申請件数の推移、分野別輸出許可申請件数などについて解説。



講演 3 「JASO T 903：二輪車用エンジン油規格改正 -二輪車要求と環境対応のハーモナイゼーション-」

社団法人自動車技術会 二輪部会
二輪車用 4 サイクルエンジン油分科会
分科会長 赤木 正俊 氏
(株式会社本田技術研究所)

「JASO T 903：二輪車用エンジン油規格改正-二輪車要求と環境対応のハーモナイゼーション-」と題し、JASO T 903-98：二輪車用エンジン油規格の改正概要、JASO 二輪車用エンジン油規格の将来構想、国際規格化活動などについて講演。

具体的には、JASO T 903-98：二輪車用エンジン油規格の改正概要として JASO T 903-98 の規格内容、改正の背景、技術課題及び改正計画、改正された JASO T 903-2006 の規定内容などについて解説。また、JASO 二輪車用エンジン油規格の将来構想として 10W-30 油適用によるエネルギー消費低減構想、新 JASO 規格の低粘度エンジン油適用構想などについて解説。最後に JASO 二輪車用エンジン油規格の国際規格化活動として JASO 4T 規格制定の経緯と ISO 規格、JASO 規格と ISO 規格の共同同時開発などについて解説。



「平成 18 年度潤滑油管理者研究会（大阪）」開催

10月13日（金）大阪ガーデンパレスにおいて、基金対象事業における調査情報収集・研究会等事業の一環として「平成 18 年度潤滑油管理者研究会（大阪）」を開催しました。当日は会員を中心に 50 余名の参加を得て盛況に行われました。

今回の大阪における研究会では、ダイキン工業株式会社の上田泰史氏、中央労働災害防止協会近畿安全衛生サービスセンターの形部保夫氏及びダイハツ工業株式会社の折田俊哉氏を講師に招き、それぞれご専門の立場から下記テーマでご講演いただきました。

講演 1 「環境に配慮した製品開発とグリーン調達について-RoHS 指令対応-」

ダイキン工業株式会社
空調生産本部 購買部
副参事 上田 泰史 氏

「環境に配慮した製品開発とグリーン調達について-RoHS 指令対応-」と題し、世界に広がる有害化学物質規制、環境に配慮した製品開発、グリーン調達の取組み、化学物質管理-RoHS 指令対応、海外拠点での取組みなどについて講演。

具体的には、世界に広がる有害化学物質規制として EU、米国、日本などの有害化学物質規制、各国 RoHS の比較、日本版 RoHS などについて解説。次に、環境に配慮した製品開発としてダイキン工業(株)における製品環境自主基準、油圧機器の環境配慮などについて解説。また、グリーン調達の取組みとしてダイキン工業(株)におけるグリーン調達の位置付け、グリーン調達ガイドライン要求事項、グリーン調達の運用などについて解説。さらに、化学物質管理-RoHS 指令対応として資材・部品含有化学物質管理、RoHS 指令対応の化学物質管理、RoHS 対応部品管理システムの概要、品質保証体制などについて解説。最後に海外拠点での取組みとしてダイキン工業(株)の海外拠点でのグリーン調達ガイドラインの推進、海外拠点での化学物質管理などについて解説。



講演 2 「改正労働安全衛生法のポイントについて」

中央労働災害防止協会
近畿安全衛生サービスセンター
安全管理士 衛生管理士
専門役 形部 保夫 氏

「改正労働安全衛生法のポイントについて」と題し、労働安全衛生法改正の背景、改正労働安全衛生法の 11 の改正ポイントなどについて講演。

具体的には、長時間労働者への医師による面接指導の実施、特殊健康診断結果の労働者への通知、危険性・有害性等の調査及び必要な措置の実施、認定事業者に対する計画届の免除、安全管理者の資格要件の見直し、安全衛生管理体制の強化、製造業の元方事業者による作業間の連絡調整の実施、化学設備の清掃等の作業の注文書による文書等の交付、化学物質等の表示・文書交付制度の改善、有害物ばく露



作業報告の創設及び免許・技能講習制度の見直しの 11 改正ポイントについて解説。特に、平成 18 年 12 月 1 日に施行される化学物質等の表示・文書交付制度の改善における化学品の分類および表示に関する世界調和システム（GHS）に対応する表示について解説。

講演 3 「環境に優しい自動車の開発と普及」

ダイハツ工業株式会社
環境室
課長 折田 俊哉 氏

「環境に優しい自動車の開発と普及」と題し、スモールカーの役割、クルマと環境、地球温暖化の抑制、排出ガスの抑制、クリーンエネルギー車の開発などについて講演。



具体的には、スモールカーの役割として都市と地方における旅客輸送の自動車分担率、都市における軽自動車の世帯当り普及台数などについて解説。次にクルマと環境として自動車の一生と環境影響、地球温暖化ガスの推移、自動車業界の取組み、自動車業界の環境行動計画、環境に優しい自動車の開発などについて解説。また、地球温暖化の抑制としてダイハツ車の平均燃費の推移、燃費向上への取組み、平成 22 年度燃費基準の達成状況などについて解説。さらに、排出ガスの抑制として排出ガス規制の変遷、ダイハツの排出ガス浄化技術、排出ガス浄化システムなどについて解説。最後にクリーンエネルギー車の開発として天然ガス（CNG）車の開発と普及、ハイブリッド（HV）車の開発、燃料電池車の開発などについて解説。

JALOS 研修会「初級コース・車両用潤滑油」開催

平成 18 年 10 月 13 日（金）に化学会館（東京・御茶ノ水）にて JALOS 研修会「初級コース・車両用潤滑油」を開催しました。研修内容等は、次のとおりです。

「ガソリン・ディーゼルエンジン油」

講師：新日本石油株式会社 研究開発本部
中央技術研究所 潤滑油研究所
輸送用潤滑油グループ 特別研究員
工学博士 加賀谷 峰夫 氏

クルマの性能向上に伴う API、ILSAC 及び JASO 規格の変遷、今後の動向について解説。また、エンジン特性とオイルの関係、並びに省燃費性・ロングドレイン性・排出ガス対策といった地球環境保全への配慮の全体像についても解説。



「駆動系潤滑油（ATF、ギヤ油等）」

講師：武蔵工業大学 非常勤講師 工学博士 渡辺 誠一 氏

ATF、ギヤ油、グリース、PSF 等、それぞれの油剤の使用箇所と特徴、要求特性、評価方法、規格を紹介。また CVT をはじめ、各ユニットに関する作動機構のメカニズムと油の役割とともに最新技術動向についても解説。

「'06 JALOS 環境フォーラム」開催のご案内

先月号でもお知らせしましたが、当協会では潤滑油環境対策事業（資源エネルギー庁補助事業）の一環として、「'06 JALOS 環境フォーラム」を下記の要領にて開催することになりました。参加ご希望の方は、奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

日 時：平成 18 年 11 月 29 日（水） 受付：13:10～

会 場：笹川記念会館 4F 第 1、2 合同会議室（鳳凰の間）
（東京都港区三田 3-12-12）

講 演：1. 「自動車用潤滑油からの環境対策

- 新燃料技術に対応したディーゼルエンジン油の動向 - 」

いすゞ自動車株式会社 車両研究実験部 材料開発第二課

シニアスタッフ 星野 崇 氏

2. 「潤滑油需要家の環境対策の動向

- 軸受メーカーの取り組みについて - 」

日本精工株式会社 コンプライアンス本部 環境管理部

部長 中 道治 氏

3. 「環境対応型金属加工油について

- 非塩素系金属加工油の技術動向 - 」

出光興産株式会社 潤滑油部 潤滑技術二課

チーフエンジニア 前田 和史 氏

4. 「潤滑油環境対策事業報告

- 使用済み潤滑油の再生利用に関する調査 - 」

社団法人潤滑油協会 技術センター

統括研究員 市川 雪則

定 員：150 名

参加費：無料

申込先：社団法人潤滑油協会・事業部

FAX（047-431-9579）または

郵送（〒273-0015 千葉県船橋市日の出 2-16-1）

お申込みをお受けした方には、参加票をお届けします。



第 31 回潤滑油製造業・全国環境保安担当者講習会開催のご案内

基金対象事業における保安防災対策事業の一環として、「第 31 回潤滑油製造業・全国環境保安担当者講習会」を下記の要領にて開催いたしますのでご案内申し上げます。

日 時：平成 19 年 1 月 26 日（金） 10:00～16:00（受付 9:30～）

場 所：

講演；テレコムセンター会議室（江東区）

見学；東京臨海リサイクルパワー（株） スーパーエコプラント（江東区）

スケジュール：

9:30 より 受付（テレコムセンター会議室）

10:00 開会挨拶 （社）潤滑油協会 専務理事 岡田 泰

10:00～11:00 講演 1. 「レスポンシブル・ケア活動について」

（社）日本化学工業協会

日本レスポンシブル・ケア協議会事務局 部長 今田 和生 氏

11:00～12:00 講演 2. 「事業所の危険性評価方法（チェックリスト方式）について」

（株）損保ジャパンリスクマネジメント

リスクエンジニアリング事業部 部長 黒瀬 俊明 氏

12:00～13:00 休 憩（昼食）

13:00～13:30 見学先へ移動

13:30～15:30 見学 東京臨海リサイクルパワー（株）「スーパーエコプラント」（江東区）

15:30～15:35 閉会挨拶 保安防災分科会長 新日本油脂工業（株） 三上 力

16:00 解散（東京駅）

なお、講習会への募集人員は 40 名迄とさせて頂きたく、講演、見学どちらか一方のみの申し込みは出来ませんので、お申込みにご注意下さるようお願いいたします。

申込締切：平成 19 年 1 月 12 日（金）

参 加 費：正会員 無 料 特別・賛助会員 ¥1,000 一般 ¥2,000

お問合せ先：保安防災分科会事務局 TEL：047-433-5181 FAX：047-431-9579



協会の動き

第2回 アドバイザリーG 会議

9月21日(木)に航空会館において、第2回 アドバイザリーG 会議を開催しました。議事内容は次のとおりです。

- (1) 経過報告について
- (2) 事業5年間の成果取りまとめについて
- (3) その他

平成18年度 潤滑油管理者研究会(東京)

9月22日(金)に開催。内容は前掲。

インフィニウム燃料シンポジウム2006に参画

9月22日(金)に新橋第一ホテルにおいて、インフィニウムジャパン株式会社主催による「インフィニウム燃料シンポジウム2006」に参画しました。

エンジン試験専門委員会に参画

9月22日(金)に石油学会会議室において、石油学会主催による「エンジン試験専門委員会」に参画しました。

エンジンオイル分科会に参画

9月25日(月)に自動車技術会会議室において、自動車技術会主催による「エンジンオイル分科会」に参画しました。

標準試料委員会に参画

9月26日(火)に石油学会会議室において、石油学会主催による「標準試料委員会」に参画しました。

パネルコーキング試験小委員会に参画

10月4日(水)に石油学会会議室において、石油学会主催による「パネルコーキング試験小委員会」に参画しました。

ディーゼルオイルWGに参画

10月4日(水)に石油連盟会議室において、石油連盟・自動車工業会主催による「ディーゼルオイルWG」に参画しました。

油脂技術委員会に参画

10月5日(木)に機械振興会館会議室において、(社)日本建設機械化協会主催による「油脂技術委員会」に参画しました。

トライボロジスト編集委員会に参画

10月5日(木)に機械振興会館において、日本トライボロジー学会主催による「トライボロジスト編集委員会」に参画しました。

第1回 潤滑油標準化委員会

10月10日(月)に航空会館において、第1回 潤滑油標準化委員会を開催しました。議事内容は次のとおりです。

- (1) 潤滑油標準化委員会の進め方について
- (2) JIS 5年見直し調査対応について
- (3) その他

エンジン試験専門委員会に参画

10月12日(木)に石油学会会議室において、石油学会主催による「エンジン試験専門委員会」に参画しました。

平成18年度 潤滑油管理者研究会(大阪)

10月13日(金)に開催。内容は前掲。

JALOS 研修会「初級コース・車両用潤滑油」

10月13日(金)に開催。内容は前掲。

WTC2009 財務小委員会に参画

10月13日(金)に日本精工株式会社会議室において、日本トライボロジー学会主催による「WTC2009 財務小委員会」に参画しました。

潤滑剤等関連団体連絡会議

10月17日(火)にルビーホールにおいて、潤滑油関連の五団体(全国石油工業協同組合、日本グリース協会、全国工作油剤工業組合、全国オイルリサイクル協同組合及び潤滑油協会)の正副会長・理事長、事務局による第8回潤滑剤等関連団体連絡会議が開催され、資源エネルギー庁高田石油精製備蓄課長のご挨拶の後、各団体から各々の活動状況等が報告されました。

第1回 日本経団連・低濃度 PCB 対策 WG に参画

10月18日(水)に日本経団連会議室において、日本経団連主催による「第2回日本経団連・低濃度 PCB 対策 WG」に参画しました。

ISO・JIS 試験法分科会に参画

10月20日(金)に石油連盟主催による「ISO・JIS 試験法分科会」に参画しました。

平成 18 年 工 業 統 計 調 査 に つ い て

経済産業省では、次のような内容の工業統計調査の実施を予定しております。ご協力をお願いいたします。

製造事業所の皆様へ

経済産業省

経済産業省では、工業統計調査を平成 18 年 12 月 31 日現在で実施します。

この調査は、製造業を営む事業所を対象として、その活動実態を明らかにすることを目的として調査します。

調査結果は、国や地方公共団体の行政施策の重要な基礎資料として利用されるとともに、大学や民間の研究機関等においても広く利用されているところです。

皆様から提出していただく調査票については、統計法に基づき調査内容の秘密は厳守されますので、正確なご記入をお願いいたします。

上記調査の問合せ先は、次のとおりです。

〒100-8902 東京都千代田区霞が関 1-3-1

経済産業省 経済産業政策局 調査統計部

産業統計室 工業統計グループ（工業統計調査）

TEL 03-3501-1511 内線（2894） FAX 03-3501-7790

信頼される依頼試験を提供します。

当協会技術センターでは、潤滑油剤の公益試験研究機関として様々なニーズにお応えできるように、ISO9001:2000 の認証を取得し、更に試験体制の環境整備を進め、信頼される依頼試験の提供に努めております。

対象試験・分析項目

潤滑油剤の規格試験、 潤滑油剤の性能試験、 潤滑油剤の成分分析

潤滑油剤の特殊試験（エンジン試験、摩擦特性試験等）

各種試験のご依頼、ご相談等は下記までお問い合わせ下さい。

〒273-0015 千葉県船橋市日の出 2-16-1

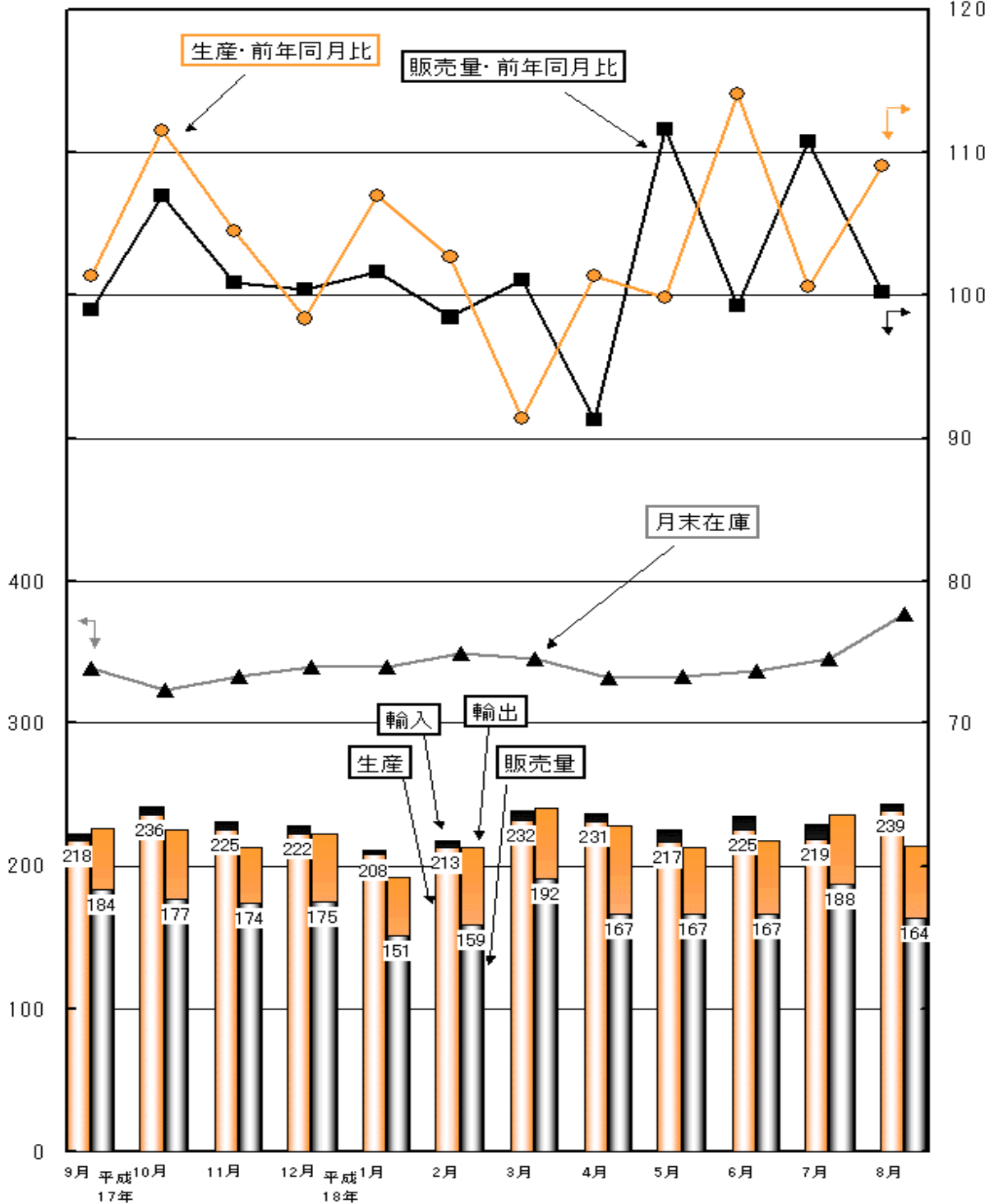
社団法人潤滑油協会 技術センター 一般試験室又は技術相談室

TEL 047-433-5181 FAX 047-431-9579



潤滑油需給統計

8月の生産量は239千kLで前年同月比で9.0%上回り、販売量は164千kLで0.2%上回った。
 (千kL) (千kL) (%) (%)



出典：経済産業省 資源・エネルギー統計月報（注：棒グラフ上段の数字は生産量、下段の数字は販売量）

潤滑油需給統計（時系列表）

（単位：kL）

年 月	生産 Production	輸入 Import	国内向販売 Domestic sales	輸出 Export	在庫 Inventory	販売部門 (製造業者・輸入業者) Sale section (Manufacturers and importers)	
						生産部門 Production division	
平成15年	2,593,764	48,759	2,086,201	456,650	322,967	165,447	157,520
16	2,633,010	47,020	2,070,171	517,391	330,653	169,659	160,994
17	2,636,037	57,176	2,045,538	547,376	339,971	161,731	178,240
平成16年度	2,610,642	52,070	2,044,827	513,134	340,054	175,202	164,852
17	2,632,848	58,018	2,047,105	558,563	331,868	151,493	180,375
平成17年4～6月	642,638	14,470	500,606	144,712	326,908	159,120	167,788
7～9	654,509	10,221	518,428	135,542	322,621	161,089	161,532
10～12	682,419	18,772	525,539	133,582	339,971	161,731	178,240
平成18年1～3月	653,282	14,555	502,532	144,727	331,868	151,493	180,375
4～6	672,850	24,250	500,480	158,797	346,307	167,722	178,585
平成17年6月	197,544	4,852	167,920	43,063	326,908	159,120	167,788
7	218,145	3,314	169,979	50,934	325,617	155,398	170,219
8	218,857	2,838	164,114	42,610	338,606	161,281	177,325
9	217,507	4,069	184,335	41,998	322,621	161,089	161,532
10	235,705	6,170	176,900	47,770	332,887	154,643	178,244
11	225,121	6,111	174,083	38,661	340,073	164,615	175,458
12	221,593	6,491	174,556	47,151	339,971	161,731	178,240
平成18年1月	208,460	2,655	151,019	41,943	348,892	163,181	185,711
2	213,308	5,033	159,068	53,854	346,028	160,100	185,928
3	231,514	6,867	192,445	48,930	331,868	151,493	180,375
4	231,027	6,226	167,007	61,394	332,588	155,227	177,361
5	216,654	8,263	166,900	46,346	337,166	153,465	183,701
6	225,169	9,761	166,573	51,057	346,307	167,722	178,585
7	219,345	9,511	188,412	48,240	356,566	173,683	182,883
8	238,538	5,008	164,376	49,583	375,784	194,100	181,684
前年同月比	109.0	176.5	100.2	116.4	111.0	120.3	102.5

出典：経済産業省 資源・エネルギー統計月報

お知らせ

入会会員（賛助会員）

日産化学工業株式会社（平成 18 年 10 月 1 日）

事業内容：化学品、農業化学品、医薬品等の製造・販売

原油価格高騰に伴う中小企業向けセーフティネット貸付等に関するリーフレットについて

平成 18 年 10 月 13 日付けで、経済産業省中小企業庁調査室より当協会に標記リーフレットが送られてまいりました。ご希望の方は、当協会事業部までお問い合わせ下さい。

<p>原油価格高騰に伴う 中小企業金融対策のご案内</p>	<p>◆信用保証協会によるセーフティネット保証 全国的に業況が悪化している業種に属し、影響を受けている中小企業者について、民間金融機関の融資に対する信用保証協会の保証を通常よりも優遇された条件で提供します。 ※本制度利用の際には、各市町村（東京都特別区を含む。）の認定が必要です。</p> <p>・保証限度額：2億8千万円 （一般保証限度額2億8千万円とは別枠での保証が受けられます。）</p> <p>・保証料：各信用保証協会が設定する料率 （一般保証の平均保証料1.35%に比べ、割安の保証料が適用されます。）</p> <p>・保証条件：保証人は本人保証を除き原則不要。担保は必要に応じて提供。</p>
<p>「ガソリン価格が高くて経営が成り立たない」 「価格転嫁しようと思っても難しい」など</p> <p>お困りの中小企業者の方、セーフティネット貸付・セーフティネット保証を是非ご利用下さい。</p>	<p>困ったときは、お早めに下記の特別相談窓口へ</p> <ul style="list-style-type: none"> 中小企業金融公庫 東京相談センター TEL: 03-3270-1260、名古屋相談センター TEL: 052-551-5188、大阪相談センター TEL: 06-6345-3577、福岡相談センター TEL: 092-781-2396 全国各支店: http://www.jasme.go.jp/jpn/business/a400.html 国民生活金融公庫 東京相談センター TEL: 03-3270-4649、名古屋相談センター TEL: 052-211-4649 大阪相談センター TEL: 06-6536-4649 全国各支店: http://www.kokukin.go.jp/tenpo/index.html 商工組合中央金庫 広報部 TEL: 03-3246-9366 全国各支店: http://www.shokochukin.go.jp/sho41h10.html 沖縄振興開発金融公庫本・支店 TEL: 098-941-1700 全国信用保証協会連合会 TEL: 03-3271-7201 全国各信用保証協会: http://www.zenshinhoren.or.jp/access.htm 全国商工会連合会 TEL: 03-3503-1251 都道府県商工会連合会: http://www2.shokokai.or.jp/urlinfo/search.asp 日本商工会議所 TEL: 03-3283-7824 全国各商工会議所: http://www.cin.or.jp/cin-cgime_list9open.asp 各経済産業局 北海道経済産業局 TEL: 011-709-1783 東北経済産業局 TEL: 022-222-2425 北海道経済産業局 TEL: 048-601-0321 中部経済産業局 TEL: 052-951-2748 近畿経済産業局 TEL: 06-4966-6023 中国経済産業局 TEL: 082-224-5661 四国経済産業局 TEL: 087-831-7621 九州経済産業局 TEL: 092-482-5393 沖縄総合事務所 TEL: 098-862-145
<p>◆政府系金融機関によるセーフティネット貸付 原材料価格の急騰などの影響により、一時的に売上高や利益が減少しているもの、中長期的にはその業況が回復することが見込まれる中小企業者に対して、運転資金の貸付限度額の弾力化などにより、積極的に対応します。</p> <p>・貸付限度額 【中小公庫】4億8千万円 （既に中小公庫の一般貸付を利用している方については、一般貸付と合わせて4億8千万円が限度額となります。）</p> <p>【国民公庫】4千8百万円 （既に国民公庫の一般貸付を利用している方については、一般貸付と合わせて4千8百万円が限度額となります。 ※クリーニング業などの生活衛生関係営業を営む方で、振興計画の認定を受けた生活衛生同業組合に属している方についての限度額は5千7百万円です。）</p> <p>【商工中金】4億8千万円 （既に商工中金の他の貸付を利用している方でも、他の貸付の限度額にかかわらず、本制度の限度額は4億8千万円となります。）</p> <p>・貸付利率：基準利率（2.3% 9月13日現在） （担保・保証条件の特例を受ける場合等の金利の上乗せがあります）</p> <p>・貸付期間：5年以内 特に必要な場合は7年以内。 （うち据置期間1年以内 特に必要な場合は2年以内）</p>	

今後の予定

改正労働安全衛生法説明会

10月27日 銀座プロッサム（旧中央会館）

JIMTOF 2006(第23回日本国際工作機械見本市)へ出展

11月1日～8日 東京ビッグサイト

JALOS 環境フォーラム

11月29日 前掲

理事会

12月8日 虎ノ門パストラル

禁無断転載

発行日 平成18年10月20日

発行所 社団法人 潤滑油協会

〒273-0015

千葉県船橋市日の出 2-16-1

TEL 047-433-5181（代表）

FAX 047-431-9579

印刷所 伝宏社

この印刷物は再生紙を使用しています。